

会議結果報告書

1 会議名	平成 30 年度第 1 回環境指導員地区会議（松浪地区）
2 日時	平成 30 年 5 月 29 日（火）10：00～12：00
3 場所	小和田公民館 学習室 2
4 出席者	（資源循環課）原田副主査、下舞主事 （環境事業センター）和田主事、加茂主事、原田技能労務統括主査、小川技能労務統括主査、森川技能労務統括主査 （松浪地区）参加人数：19 人
5 内容	<p>本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <p>●ごみ処理に関する課題について意見を聞くとあるが、自治会では何を行えばよいか。 →まちぢからで周知しているが、各自治会でごみの有料化と戸別収集についての意見交換会を行う予定である。</p> <p>●分かりやすい資料を準備してほしい。 →検討する。</p> <p>●戸別収集はいつから検討を行っているか。また、いつから行う予定か。実際にやるつもりで検討しているのか。 →戸別収集については平成 29 年度の後半から現場での調査を実施するなど、本格的に検討を開始している。現在様々な調査を行っているが、平成 30 年度中に調査を踏まえ経費を積算するとともに、市民の意見を集約し、平成 31 年度末までに方向性を決定する予定である。</p> <p>●戸別収集を実際に行うのか。 →有料化の歳入と戸別収集の歳出のバランスを考えて検討を行っている。有料化は全国で 6 割以上の自治体で実施されているが、戸別収集は 1 割未満である。先進市では、戸別収集を行い、赤字になっている事例もあるので、本市で実施した場合にどのようなのか検証を進めて行く。鎌倉市と逗子市では、赤字が見込まれたため戸別収集を断念している。</p> <p>●戸別収集を行った際に猫やカラスにごみを荒らされる可能性があるが市はどのように考えているか。集積場所から各戸に分散されるだけではないか。 →何もしないと被害が出てしまう。各家庭で対応をしてもらうことを考えている。</p> <p>●戸別収集を行うとなると、狭い道路や通学路で危険にならないか、デメリットが多いのでは。希望者のみ行うということもあるか。</p>

→県内他市では希望性ではなく、全戸を対象に実施している。道が狭いところは軽トラックで収集しており、通学路の安全性についても配慮した上で実施している。

以上